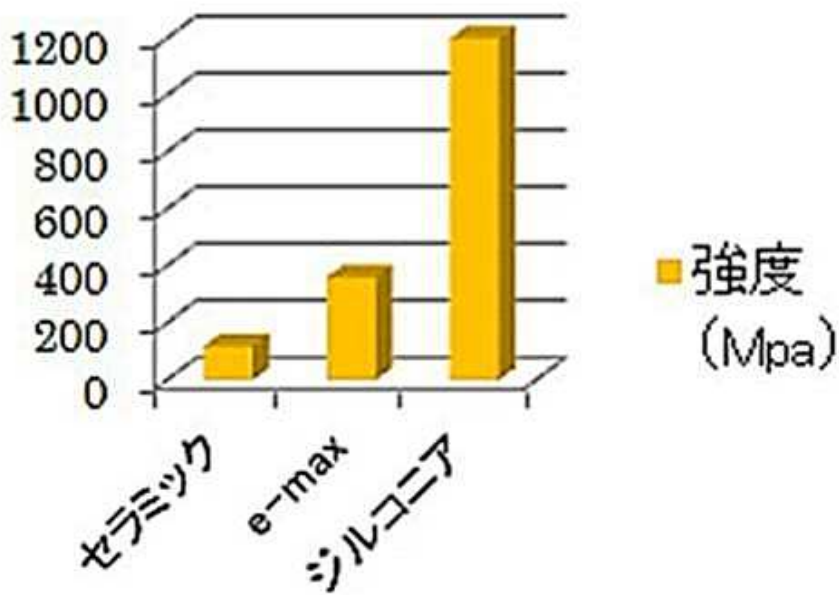


★耐久性の違い・・・いつまでもきれいで清潔なものをお口の中に！！

曲げ強度 (Mpa) による比較



ジルコニアやセラミックスは、保険のプラスチックやハイブリッドよりも表面の強度が強く、傷が付いてくすんだり変色したりほとんどせず、ご自分の歯と同じようなつやが続きます。

また、こまかい傷が付かないために、表面へのプラークの付着も少なく、虫歯や歯周病、口臭のリスクも少ないのです。

特に、ジルコニアや e-max などのオールセラミックスは、既存のセラミックスよりも何倍も強度があり、割れたり欠けたりしにくいです。

保険のプラスチック（コンポジットレジン）は50～100Mpa と、セラミックの半分ほどの強度  
IADR 2005, Abstract 1845 コンポジットレジンの機械的性質について より

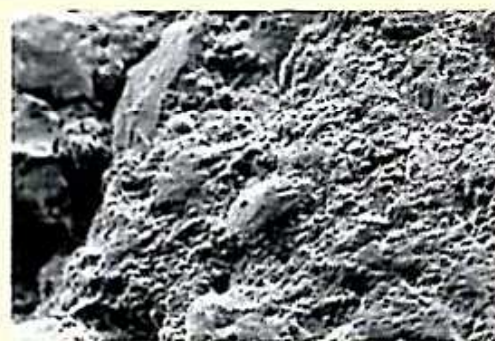
また、保険の金属で見られるような、金属が変形することで歯との境目にすきまができて、そこから虫歯になることも抑えることができます。

セラミック



表面が滑らか  
プラークが付きにくい

プラスチック



スポンジのような表面  
プラークが付きやすい

5年後 3年後



セラミック

5年後 3年後



プラスチック

※変色には個人差があります。



※磨耗には個人差があります。

拡大



プラスチックは  
磨耗が進むと  
裏の金属が  
見えることも...

特に、インプラントの上部構造（インプラントを埋め込んだ部分の歯）には、インプラント周囲炎を予防するためにも、汚れが付きにくいセラミックス（ハイブリッドセラミックスは除く）を使用されることが望まれます。